【社会調査実務士】教育課程　到達目標達成度評価表（提出用）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 資格到達目標 | 開発能力 | 具体的な学修目標 | 学生自己評価（項目別）レベル | 学生自己評価（領域別）総合評価 |
| 領域１　社会調査実務の基礎となる社会調査の概念と調査プロセスについて理解し、現代社会について考えるための幅広い基礎的知識を修得し、社会調査実務を担うために必要な基礎能力を身につけている。 | 1-1社会調査への基礎的理解 | ①社会調査とは何かについて、説明することができる。 | 5・4・3・2・1 | 5・4・3・2・1 |
| ②調査の企画・設計および情報分析に関する基礎を身につけている。 | 5・4・3・2・1 |
| 1-2社会調査を捉える幅広い知識 | ③現代社会と人間行動に関する基礎的知識を身につけている。 | 5・4・3・2・1 |
| ④人間の心理と行動、社会と企業などの関連性について考える力を身につけている。 | 5・4・3・2・1 |
| 1-3社会調査実務の基本となる能力 | ⑤様々な事業者・主体が行う社会調査実務に関する基礎的知識を身につけている。 | 5・4・3・2・1 |  |
| 領域２　企業のマーケティングや自治体等の地域課題、社会問題への取り組みについての理解を深め、社会調査実務を担うために必要な専門的知識・技術を修得し、その実践的活用の手法を理解している。 | 2-1社会調査実務についての理解 | ⑥企業や自治体等に求められる社会調査に関する活動とその際の倫理について詳しく理解している。 | 5・4・3・2・1 | 5・4・3・2・1 |
| ⑦様々な社会調査の手法を詳しく理解している。 | 5・4・3・2・1 |
| 2-2社会調査実務を支える専門的知識の理解 | ⑧社会調査を実施するにあたっての専門知識を身につけている。 | 5・4・3・2・1 |
| ⑨社会調査や企業調査などによって得られる情報の処理・分析などの実践的活用方法を身につけている。 | 5・4・3・2・1 |
| 領域３　社会調査実務に関する幅広い学びの内容を活かす総合的実践力を身につけ、高い専門性を有する社会調査のスペシャリストとして活動するために学びを継続させる重要性を理解している。 | 3-1社会調査実務に関する総合的実践力 | ⑩社会調査の手法を用いた、ゼミ活動や体験学修を通して、現代社会について学んだ知識やスキル等を、さらに総合的に活用して実践できる能力を修得する。 | 5・4・3・2・1 | 5・4・3・2・1 |
| 3-2社会調査を通じた学びの継続性の理解 | ⑪課題解決型学修やプロジェクト型学修などのアクティブラーニングを通して得る気づきから、将来、より高い専門性を有する社会調査実務士として活動するための学びを継続することの重要性を理解している。 | 5・4・3・2・1 |

〇評価結果の全体振り返りと今後の自分の開発能力と学修課題について（300字程度 学生記入）

|  |
| --- |
|  |

教職員提出確認

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 大学ｺｰﾄﾞ |  | 大学名 |  | 学部・学科 |  |
| 学籍番号 |  | 氏名 |  |